



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社 経理
代表者名 代表取締役社長 猪坂 哲
(コード番号 8226 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経理部長 長谷川 章詞
(TEL. 03 - 3345 - 2153)

連結業績予想値と実績値の差異

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想における予想値と比較して、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

2022年3月期 連結業績予想値と実績値の差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) (2021年5月13日発表) | 百万円 11,000 | 百万円 220 | 百万円 160 | 百万円 70 | 円 銭 4.63 |
| 実績値 (B) | 10,862 | 248 | 204 | 139 | 9.24 |
| 増減額 (B - A) | △138 | 28 | 44 | 69 | |
| 増減率 (%) | △1.3 | 12.7 | 27.5 | 98.6 | |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 10,139 | 216 | 226 | 157 | 10.43 |

修正の理由

連結の実績値につきましては、連結売上高は108億6千2百万円、営業利益は2億4千8百万円となり、2021年5月13日に発表した業績予想の数値に対し、連結売上高は若干下回りましたが、営業利益は上回る結果となりました。

セグメント別では、システムソリューションにおいては主としてIoT関連ビジネス、3次元画像撮影・解析システムにつき、当初計画されていた案件がコロナ禍で予算凍結や見直しが行われたことにより売上高が伸び悩みました。

ネットワークソリューションにおきましては、当初計画に見込んでいた衛星通信案件の予算執行遅れや、放送局、CATVにおける設備投資の予算削減等により、売上高、利益とも未達となりました。

電子部品及び機器につきましては、産業用ロボティクス、半導体製造装置の市場が好調で、位置制御用LED製品が大きく伸びました。また、コロナ禍の長期化により、非接触カードで使用される導電性接着剤も好調に推移しました。防衛省向けビジネスにおいては、連結子会社である株式会社

エアロパートナーズの航空機部材、保守点検ビジネスにつき、コロナ禍の影響を大きく受けず、業績を大きく伸ばしました。

営業外費用では連結子会社リケイ・コーポレーション（H.K.）リミテッド減資に係る為替差損、特別損失で見込んでおりました本社移転費用の減少により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、2021年5月13日に発表いたしました業績予想を上回りました。

以 上